

平成 26 年度事業報告および決算

平成27年5月19日



北陸経済連合会

【事業活動報告】

I 災害時、命を守り、代替補完機能を担うための社会インフラ整備 [社会基盤整備委員会]

1. 北陸新幹線の建設促進に向けた支援・要望活動

- (1) 敦賀延伸の大幅な工期短縮に向けた取組み
- (2) 大阪までのフル規格による全線整備に向けた取組み

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・政府・与党等に対する要請活動 <ul style="list-style-type: none"> ・北経連単独(8/7) ・西経協合同(10/16) ・三経連合同(10/24) <li style="text-align: right;">他※ ・敦賀以西3ルートに関する調査報告 <ul style="list-style-type: none"> ・総合対策委員会(4/4)、常任理事会(4/21)にて各ルートにおける特長・課題等を報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・各要請や経団連との懇談会(10/20)等のあらゆる機会を捉えて、新幹線の早期整備(H26年度末の確実な金沢開業、金沢・敦賀間の大幅な工期短縮による早期完成・開業、大阪までのフル規格による早期全線整備)についてアピールした ・北陸新幹線金沢開業(3/14) ・金沢・敦賀間工期の3年前倒し(平成34年度末)が決定 ・各ルートにおける条件に不確定な部分が多く、関係機関等からの情報収集が困難な状況 ・三県知事懇(8/5)にて、「大阪までのフル規格による早期全線整備」については三県ともに考えが一致

※参考: 県等との連携

- ・合同中央要請(5/27、11/17)(関西経済連合会、関西広域連合も参加)
- ・総決起大会(5/26(富山)、5/27(東京)、5/24(福井)、7/21(石川))

2. 並行在来線の課題対策への支援

- (1) 並行在来線の安定運営に向けた国やJRの支援施策の検討・要望

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・政府・与党等に対する要請活動 <ul style="list-style-type: none"> ・北経連単独(8/7) <li style="text-align: right;">他※ ・協議会等への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・富山: 幹事会(5/26、9/1)、利用促進協議会(5/29、10/28) ・石川: 利用促進協議会(4/30) ・福井: 幹事会(2/16)、対策協議会(3/18) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各要請等の機会を捉えて、並行在来線の安定経営・利用者の利便性向上についてアピールした ・経済界の立場として協議会等に参画し、広域的な視点から議論を行った ・富山: 「あいの風とやま鉄道」開業(3/14) ・石川: 「IRいしかわ鉄道」開業(3/14)

※参考: 県等との連携

- ・合同中央要請(5/27、11/17)

3. 高規格幹線道路の整備促進に向けた要望活動

- (1) 中部縦貫自動車道・舞鶴若狭自動車道・能越自動車道の早期全線開通の要望、東海北陸自動車道の四車線化の要望

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・政府・与党等に対する要請活動 <ul style="list-style-type: none"> ・北経連単独(8/7) ・西経協合同(10/16) ・三経連合同(10/24) ・協議会等への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・東海北陸自動車道建設促進同盟会総会及び提言活動(7/25) ・東海北陸地域整備推進協議会提言活動(7/25) ・全国高速道路建設協議会総会及び提言活動(8/21) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各要請等のあらゆる機会を捉えて、高規格幹線道路の整備促進についてアピールした ・東日本大震災以降、代替補完機能の観点で評価され、道路についても一部整備に進展がみられるものの、未だ北陸管内のミッシングリンクは解消されていない

4. 港湾・空港の活性化

- (1) 北陸の港湾連携の推進

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・北陸地域国際物流戦略チーム「広域バックアップ専門部会」への参画 ・南海トラフ地震に対応した代替輸送訓練ワークショップ(10/27) 図上訓練(11/28) ・平成26年度第1回 広域バックアップ専門部会(1/22) ・「北陸港湾の利便性拡大に向けての勉強会」開催 <ul style="list-style-type: none"> ・代替輸送訓練ワークショップ参加者との懇親情報交換会(10/27) ・政府・与党等に対する要請活動 ・北極海航路利用拡大に対応する北陸の日本海側拠点港の整備促進を政府に要望 	<ul style="list-style-type: none"> ・東海地域の荷主、陸運業者、倉庫業者、船社、港湾管理者を対象として南海トラフ地震が発生した際に北陸側港湾に代替輸送をするための方策、課題解決策等を参加者がその場で考えるワークショップを実施(10/27) さらに、11月に代替輸送手順に基づいた模擬演習(図上訓練)を実施(11/28) ・太平洋側の物流関係者が一堂に会して、北陸港湾の代替輸送を検討できたことに意義があった ・三県と北経連の主催で、代替輸送訓練ワークショップ参加者との懇親情報交換会を開催した ・危機管理意識の高いワークショップ参加者へ効果的に三県港湾をPRできた ・北極海航路がマスコミ等に取り上げられるタイミングで、要請活動を実施することができた

II. 広域観光推進による産業の活性化 [広域観光推進委員会]

1. 北陸の認知度向上、魅力・満足度向上に向けた取組み

[関連組織：北陸イメージアップ推進会議]

(1) 首都圏でのイメージアップイベントの拡大実施

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏でのイメージアップイベントの拡大実施 ・首都圏の交通事業者と連携した北陸PRイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・江ノ島電鉄との連携事業 <ul style="list-style-type: none"> ○湘南・北陸連携カンファレンス開催(10/8、19、11/13) ○北陸伝統工芸セレクションin湘南(2/21～24) <ul style="list-style-type: none"> ・企画電車「北陸うまいもの号」 ・北陸伝統工芸体験教室 ・北陸食品フェア(2/18～2/24) ・京浜急行との連携イベント <ul style="list-style-type: none"> ○「クイズ北陸物語」の実施(12/22～1/25) ・北陸フォーラムの開催(2/2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスには鎌倉市が初参加し、地域全体の連携イベントへ成長 ・企画電車に60名乗車(大半が女性、マスコミ4社乗車) ・京急Web内での北陸クイズに1,923名の応募あり。クイズ周知のため、京急車両で中吊り広告を実施し、北陸PR(1か月間)

(2) 北陸物語HP・Facebookを活用した継続的な情報発信

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・既存の北陸物語HPをベースに北陸 destinations キャンペーンHPを構築 ・観光地・食・自然・伝統文化等の情報の収集、Facebookに記事掲載(641件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸物語 Facebook の累計「いいね」15,366 (平成27年3月末) / (参考:平成26年3月末 9,018) ・記事1件あたり平均閲覧者数:5,104人、Facebook記事閲覧延べ人数:327万人 記事に対する「いいね」合計:31万件

(3) 人脈を活用した積極的なセールスプロモーション

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・旅行関係団体、出版社 計20社訪問 ・映像制作会社6社訪問 ・北陸のイベント情報、北陸物語による素材提案による誘客 ・北陸フォーラム開催に伴う働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さくとも、変わった新しいイベントをすると注目が集まり、特集しやすい ・生の情報がすぐに欲しい ・頻繁に情報を入れてほしい等 ⇒できることから随時実行

2. 北陸三県が一体となった広域観光の推進

(1) 北陸三県の官民共同による北陸デスティネーションキャンペーンの開催

実施内容	効果の確認・評価
・北陸三県の官民共同による北陸デスティネーションキャンペーン(DC)実行委員会への参画	・実行委員会から当会 HP(北陸物語)内にて DC の PR を掲載要請あり、改訂掲載済

(2) 北陸広域連携プロジェクトチームによる広域観光事業策の検討

実施内容	効果の確認・評価
・北陸広域連携プロジェクトチームによる広域観光事業および推進策検討(11/25)	・広域観光推進委員会におけるイベント企画案などの意見・評価を受ける場として大変有効

3. インバウンド観光の推進

(1) 外国人観光客向け情報の発信、誘客活動の実施

実施内容	効果の確認・評価
・「西日本広域観光ルート検討会(西日本経済協議会)」への参画	・応分の負担により、継続して参加
・「昇龍道プロジェクト推進協議会(北陸信越・中部運輸局等)」への参画	・応分の負担により、継続して参加
・北陸物語の台湾向け繁体字版 1,000 部発行、HP への掲載	・富山、小松、能登空港を中心に配布 ・福井商工会議所の会議でも活用
・北陸物語の英語翻訳とインターネットによる発信	・北陸物語英語版HP掲載(1、3号) ・北陸物語Facebook英語版を制作中

Ⅲ 産業振興 【先端技術推進委員会】

1. 産学金官の連携強化によるイノベーション創出への支援

(1) 北陸地域の産業競争力の一層の強化に向けた産学金官連携の支援

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・「北陸ライフサイエンスクラスター」や「新ヘルスケア産業フォーラム」等のクラスター事業への協力や自治体地域振興事業(富山市環境未来都市等)への支援 ・北経連に入会された8大学および富山県立大学を交えての意見交換(7/31)やアンケート調査(3/11)および訪問活動により産学連携についての意見・要望等の情報収集 ・医工融合技術を生かした医療機器の創製に関する研究会(金沢工業大学主催、北経連共催)に参加・協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術協力や販路拡大等に繋がる関係企業の紹介に協力できた。支援機関等との連携を通じて、関係者とのネットワークを広げることができた ・産学連携の取り組み方について、全体で情報交換する体制を確保することができ、有意義な意見交換ができた ・医工関係の取り組みは、各支援機関や大学での個別の取り組みが多く、北陸3県での連携した活動展開を目指す

(2) 新規事業の発掘

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・マッチング実績 55 件 技術連携の具体的な検討まで進展した成果事例は 15 件 	<ul style="list-style-type: none"> ・シーズ・ニーズのマッチングによる技術開発や製品化だけでなく、販路開拓なども合わせて、マッチングの支援ができた

(3) 人材育成・技術力向上

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ICTをテーマとする「高信頼システム情報交換会(北陸先端大と共催)」や産業競争力強化に資する内容として「ものづくり産業の課題」、「人工知能・スーパーコンピュータ」に関する講演会の開催(4回 延べ260名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進技術に関する最新情報が得られる機会として、講師と参加者との意見交換、参加者相互の情報交換などが行われ、有効な交流の場となっている ・参加者アンケートによる満足度:平均9割

(4) 市場開拓や開発パートナーの発掘

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・「ロボティクス・メカトロニクス講演会」への出展(富山市) ・「北陸技術交流テクノフェア」への出展(福井市) 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的な産学連携の成功事例やベンチャー企業の新商品等の紹介により、北陸の産学連携活動および新産業・新製品の紹介やPRをすることができた

2. 新産業創出や産業競争力強化に資する調査研究・提言

(1) 新産業発掘に向けた調査研究

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> 次世代ロボット研究会・北陸(4回) [メンバー:大学・高専の研究者 30名と企業 20社] コンバートEV(※)事業化研究会(2回) ※ガソリン車の電気自動車化 [メンバー:3県と企業 6社] 高いシェアを持つ北陸の製品・企業を紹介した「北陸のシェアトップ100」を発刊 	<ul style="list-style-type: none"> 見学会・講演会は、研究会メンバーに加え、北経連会員も参加し、幅広い視点で意見交換を行うことができた コンバートEVの実用化には困難な課題が多いが、EVに関する情報交換の場として有意義であると評価 北陸地域の優れた製品・技術力のPRに活用

3. 企業誘致の推進 [関連組織：北陸国際投資交流促進会議]

(1) 大規模産業展示会への出展を通じた国内企業の誘致

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> 大規模展示会出展 (2回:神戸、千葉) 首都圏での「北陸フォーラム」の開催(2/2) 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり企業が多く集まる展示会等で北陸への誘致をPRし、アンケートにより要望等を把握できた 講演会に約1,000名、懇親会に約1,300名と多数参加、首都圏のキーマンに北陸の良さをPRする貴重な機会として活用

(2) 海外からの投資促進に向けた情報発信

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> 「国内外からの投資促進」に相応しいスローガン、ロゴを制作 	<ul style="list-style-type: none"> 北陸への国内外からの投資促進時に使用する際のアイキャッチャーとして制作

IV. 国際経済交流 [国際交流推進委員会] [関連組織：北陸 AJEC]

1. 東アジア市場をターゲットにした企業の取組みの支援

(1) 会員ニーズに基づいた情報提供、調査事業の実施

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・「北陸・韓国経済交流拡大のための共同調査」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度に覚書を締結した韓国との共同調査を実施。文化や経済の交流により、お互いに競い合う「競争」ではなく、共に創る「共創」によって互いの発展を目指すべきとする報告書を作成
<ul style="list-style-type: none"> ・北陸 AJEC、アジア経済研究所、福井県立大学 共同シンポジウムの開催 (10/16) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度に実施したアジア経済研究所との連携研究「ASEAN 経済の動向と北陸企業の適応戦略」の研究成果を企業、行政、国際化支援機関などへ直接的に発信し、北陸企業の国際化支援、北陸地域の国際化戦略の構築に役立てた
<ul style="list-style-type: none"> ・企業の国際化と地域経済活性化に関する調査研究の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の国際化と地域経済活性化の関係を近年の理論・実証研究に基づいて整理し、国際化を北陸経済活性化の一方策として提言 ・以上の内容を報告書「企業の国際化と北陸経済の活性化を考える」として取りまとめた

2. 東アジア諸国との経済交流・海外進出コーディネーター事業の実施

(1) 東アジア諸国との経済交流の実施

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> ・第 15 回北陸・韓国経済交流会議開催 (9/17～18、七尾市) 参加者：日本側 135 名、韓国側 42 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地方経済活性化のための日韓協力」をテーマとした全体会議、「地方創生」と「複合医療」の専門分科会を実施 ・「北陸・韓国経済交流拡大のための共同調査」の中間発表を実施
<ul style="list-style-type: none"> ・「韓国との共創セミナー」開催 (10/21) 	<ul style="list-style-type: none"> ・KOTRA 名古屋、京畿道地方政府と共に開催。LG、サムソンの担当者と北陸企業とのマッチングも実施
<ul style="list-style-type: none"> ・「観光の 6 次産業化と ASEAN との交流」に関する意見交換会の実施 (3/16) 	<ul style="list-style-type: none"> ・松島タイ国政策顧問を招き、北陸の観光戦略と ASEAN との観光交流について、参加者との意見交換を実施

(2) 海外進出コーディネーター事業

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none">・北陸ライフサイエンスクラスターと共に韓国江原道、大邱との連携推進・タイでの KAMPO Work Shop 開催支援・タイ TV Ch.3 で HOKURIKU を紹介 (3 県の観光地を 5 分毎×10 回放映)	<ul style="list-style-type: none">・北陸企業の製品を韓国市場へ紹介 (鯖江チタンクリエーターなど)・ASEAN での和漢薬普及支援・タイから北陸へのインバウンド観光支援

V 地域力の向上に向けた取り組み [総合対策委員会]

1. 国等に対する提言

(1) 政策要望活動の実施

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度 政府予算等に対する北陸経済界からの要望(8/7) 西日本経済協議会要望(10/16) 三経連要望(10/24) 	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線の敦賀延伸の確実な H34 年度末までの開業、大阪までのフル規格による早期全線整備に向けた働きかけが必要 未だ原子力発電の運転再開には至っていない

(2) 行政当局・政党との勉強会等の実施

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> 北陸・近畿地方整備局、北陸信越・中部運輸局との懇談会(2/24) 中部経済産業局・近畿経済産業局との懇談会(3/10) 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換・質疑応答が活発に行われたことから、有意義な懇談会となった

2. 活力あふれる自立した北陸圏づくりの推進

(1) 第三次中期アクションプランのPDCAの実践による継続的な改善

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> 事業実績評価を踏まえ、平成27年度事業活動方針を策定(1/27) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動方針に基づき、各委員会にて事業計画を策定

(2) 北陸圏広域地方計画の実現に向けた取組みおよび 国・3県の活動のフォロー

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> 国・3県の活動フォロー 進捗状況の報告・確認(9/4) 北陸圏広域地方計画協議会幹事会への参加(2/20) 北陸圏広域地方計画協議会への参加(3/25) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画に基づき着実に進捗しているが、急激な人口減少、少子化、巨大災害の切迫とリスク対応等の大きな変化への対応が急務なことから、新たな10年を見据えた広域地方計画の見直しを行うこととなった

(3) 女性部会の立上げ、大学との連携強化による地域力の向上

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none"> 女性部会を立ち上げ、政府要望項目の検討や次年度以降の要望に向けた意見交換、講演会等を実施(6回) 8大学に新規に入会いただき、懇談会(対学長:7/14)、交流会(対産学連携部門長:11/26、3/5)を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の活躍推進を目指す政府の方針を踏まえ、女性の観点(女性ならではの意見、要望等)からの意見を北陸経済界からの意見、要望等に反映できた 懇談会で今後の更なる産学連携強化について合意し、これに基づく2回の交流会で活発な意見交換を実施 当委員会活動にも大学に参加いただき、経済界以外からの意見を伺う環境を整えることができた

3. 低炭素社会の形成に伴う環境ビジネス創出の支援

[関連組織:北陸環境共生会議]

(1) 低炭素社会の形成など、新たな課題への取組みの支援

実施内容	効果の確認・評価
<ul style="list-style-type: none">・北陸三県環境フェアへの出展・室蘭市(北陸三県の PCB を処理する施設が立地)との意見交換会に参加・北陸のエコテクノロジー、エコプロダクトの改訂版発行	<ul style="list-style-type: none">・各県は北電ワンダーラボの専門講師陣による実験教室を評価。今後も実験教室の継続要望・行政、NPO が集うことで、ネットワークが形成され、今後の協働に大いに役立つものと期待・掲載会社には好評につき、冊子を発行

平成26年度 決算報告書

1. 貸借対照表 平成27年3月31日現在

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	21,486,344	西経協引当金	4,000,000
敷金(北国不動産)	1,343,200	創立50周年事業引当金	5,500,000
		北陸新幹線開業 関連事業引当金	3,000,000
		情報機器等整備引当金	0
		退職給与引当金	427,064
		敷金(北国不動産)	1,343,200
		未払金	0
		納税預かり金	42,734
		剰余金	8,516,546
合計	22,829,544	合計	22,829,544

2. 収支計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
会費収入	81,790,000	事業費	56,034,790
協力金	700,000	会議費	3,181,507
雑収入	93,613	人件費	9,423,970
引当金戻入	2,000,000	事務費	21,405,229
		引当金	1,700,000
前年度繰越金	15,678,429	剰余金	8,516,546
合計	100,262,042	合計	100,262,042

平成26年度 北経連 決算

(予算対比)

(収入の部)

(単位:円)

	平成26年度		差引(B-A)	摘 要
	予算額(A)	決算額(B)		
会費	80,110,000	81,790,000	1,680,000	
協力金	700,000	700,000	0	
雑収入	50,000	93,613	43,613	
引当金戻入	-	2,000,000	2,000,000	情報機器引当金取崩し
前年度繰越金	15,678,429	15,678,429	0	
合計	96,538,429	100,262,042	3,723,613	

(支出の部)

(単位:円、摘要は万円)

	平成26年度		差引(B-A)	摘 要 (万円未満 切り捨て)
	予算額(A)	決算額(B)		
事業費	53,590,000	56,034,790	2,444,790	
委員会活動費	27,490,000	26,698,087	▲ 791,913	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合対策委員会 478万円 ・ 社会基盤整備委員会 319万円 ・ 先端技術推進委員会 631万円 ・ 広域観光推進委員会 1037万円 ・ 国際交流推進委員会 118万円 ・ 広報・組織基盤委員会 83万円
連携活動費	26,100,000	29,336,703	3,236,703	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員懇談会等 526万円 ・ 他経済団体との懇談会等 684万円 ・ 行政との懇談会 207万円 ・ 支援団体への支援(北陸AJEC等) 711万円 ・ その他事業費 802万円
会議費	4,160,000	3,181,507	▲ 978,493	
人件費	10,100,000	9,423,970	▲ 676,030	
事務費	17,950,000	21,405,229	3,455,229	・ サーバー入替費 218万円
引当金	1,700,000	1,700,000	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西経協引当繰入 100万円 ・ 情報機器引当繰入 50万円 ・ 退職給与引当繰入 20万円
予備費/剰余金	9,038,429	8,516,546	▲ 521,883	
合計	96,538,429	100,262,042	3,723,613	